資料 3

■B1シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB1-N1シナリオ（本推計）－「その他看護職員」

★その他看護職員

		特定施設	認知症GH	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型老健	病院の介護療養病床*	小規模多機能	その他			小計
									訪問系	その他		
										訪問看護ステーション以外	訪問看護ステーション	
B1シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,948	4,350	19,912	33,854	33,388		503	3,221	58,408		－
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.8	1.4	2.3			2.3	2.3		－
	③2025年常勤換算数	14,536	11,330	36,267	48,111	78,204		15,000	7,441	134,921		345,809
	④2025年実人員数（③×1.39。病院等との兼務を含む）（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	480,675
	⑤2025年実人員数（④×0.74。病院等との兼務を含む）（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	355,699
B1-N1シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,353	6,268	20,777	34,079	29,387	21,674	503	3,144	33,311	23,006	154,828
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.8	1.4	2.3			2.3	2.3	2.3	－
	③2025年常勤換算数	12,788	16,325	37,843	48,430	68,832		15,000	7,263	76,948	53,144	336,574
	④2025年実人員数（③×1.39。病院等との兼務を含む）（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	467,837
	⑤2025年実人員数（④×0.74。病院等との兼務を含む）（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	346,200
	算出方法	本推計の現状看護職員常勤換算数とB1シナリオの利用者増加率から推計。現状の病院の介護療養病床数で従事する看護職員は、介護療養型老健の利用者の増加率にあわせて必要となる看護職員数の中に含まれるため、除外。小規模多機能はB1シナリオと同じとした。										

資料 3

■B1 シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB1-N1シナリオ（本推計）—「行政、研究機関、その他社会福祉施設等」と「看護職員数合計」

★行政、研究機関、その他社会福祉施設等

・B1 シナリオと同様にB1-N1シナリオでも　現状（2007 年）の人数を固定した。

【医療・介護費用シミュレーション】　実人員数：98,836 人

【本推計】 常勤換算看護職員数：74,127 人　　　実人員数　：90,524 人

	カテゴリ	看護職員数(常勤換算数)	実人員
行政、研究機関、その他社会福祉施設等	保健所	7,545	7,895
	市町村	28,502	33,869
	事業所	6,778	12,479
	看護師学校・養成所又は研究機関	13,865	15,370
	助産所	1,547	1,790
	その他	7,637	10,631
	通所リハビリテーション（介護老人保健施設）*	3,444	3,543
	通所リハビリテーション（医療施設）*	4,809	4,947
合計		74,127	90,524

*通所 RH の実人員は、H19 の介護施設サービス調査から把握した看護職員常勤換算数を医療・介護費用シミュレーションと同じ計算式で算出

★看護職員数合計

	B1シナリオ	B1-N1シナリオ
実人員その1	1,797,330	1,873,677
実人員その2	1,872,044	1,952,296

資料4

■B1シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB1-N2シナリオ（本推計）－「病院看護職員」

【B1シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人	問題
一般病床	1,320,000	1,030,000	56.96	751,862	1.37	781,936	827,048	①病院の病床数に診療所の病床数も計上されてしまっている。②診療所の患者数も含まれてしまっている。③診療所の病床で従事する看護職員数も含められている。④精神病床は、精神病院の精神病床で従事する看護職員しか計上されていない。実際には、一般病院にも「精神病床」は存在している。
急性期	800,000	560,000	65.08	520,608	1.08	541,432	572,669	
亜急性期・回復期等	520,000	470,000	44.47	231,254	2.03	240,504	254,380	
療養病床（医療）	210,000	210,000	22.04	46,284	4.54	48,135	50,912	
精神病床	―	―	―	―	―	84,313	84,313	
病院助産師	―	―	―	―	―	18,054	18,054	
合計	―	―	―	―	―	932,439	980,328	

【B1-N2シナリオ（本推計）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人	算出方法
一般病床	1,170,000	819,000	56.89	665,580	1.23	692,203	732,138	①一般病床の病床数の算出は、現状で全病床数の88.7%が病院の病床数に該当するため、B1シナリオの急性期と亜急性期・回復期の132万床にその割合を乗じて算出し、約117万床とした。②急性期の病床数の算出は、B1シナリオの一般病床数のうち、急性期病床数の割合が60.6%であることから、①×0.606＝710,000床とした。③急性期の看護職員数：平成19年7月1日現在で、特定入院料、入院基本料で10対1以上の看護人員配置基準を取得している病床数は666, 814床。その病床数をもとに、看護職員数の年間労働時間を1800時間とし、7対1を6対1、10対1を9対1にひきあげて（結核病床除く）看護職員数を算出。それから、B1-N2シナリオの病床数の必要看護職員数を算出。また、この数値に手術部門の看護職員数も計上。④亜急性期の看護職員数は、「15対1」とし、管理者等の1割を計上。⑤精神病床の常勤換算看護職員数は「13対1」とし、管理者等の1割を計上。実人員については、その②は常勤換算に1.1を乗じて算出。⑥助産師の実人員については、B1と同様に現状（2007）を維持とし、また、その①をその②に固定した。
急性期	710,000	497,000	74.10	526,200	0.94	547,248	578,820	
亜急性期・回復期等	460,000	414,000	30.30	139,380	2.97	144,955	153,318	
療養病床（医療）	199,000	195,020	20.75	41,293	4.72	42,945	45,422	
精神病床	351,188	318,355	38.40	134,688	2.36	140,076	148,157	
病院助産師	―	―	―	―	―	17,766	17,766	
合計	―	―	―	―	―	892,990	943,484	

資料4

■B1シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB1-N2シナリオ（本推計）－「病院の外来看護職員」、「診療所」

★病院外来看護職員

B1シナリオ		B1-N2シナリオ		
①A推計病院看護職員常勤換算数	119,835	①A-N1推計看護職員常勤換算数	108,206	本推計の現状看護職員常勤換算数とB1シナリオと同様の患者増加率に基づいて算出。
②A推計病院外来患者数	2,040,000	②A推計病院外来患者数	2,040,000	
③B1推計病院外来患者数	970,000	③B1推計病院外来患者数	970,000	
④B1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	56,980	④B1-N1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	51,451	
⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	59,259	⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	53,509	
⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	62,678	⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	56,596	

★診療所看護職員

B1シナリオ		B1-N2シナリオ	
①現状看護職員常勤換算数	180,930	196,770	本推計の現状看護職員常勤換算数とB1シナリオと同様の患者増加率に基づいて算出。
②現状診療所患者数	3,950,000	3,950,000	
③2025年診療所患者数	5,110,000	5,110,000	
④2025年常勤換算数（①×③÷②）	234,064	254,555	
⑤2025年実人員その1(④×1.5)人	351,096	381,833	
⑥2025年実人員その2(⑤×1.6)人	374,502	407,288	

資料4

■B1シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB1-N2シナリオ（本推計）－「その他看護職員」

★その他看護職員

		特定施設	認知症GH	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型老健	病院の介護療養病床*	小規模多機能	その他			小計
									訪問系	その他		
										訪問看護ステーション以外	訪問看護ステーション	
B1シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,948	4,350	19,912	33,854	33,388		503	3,221	58,408		－
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.8	1.4	2.3			2.3	2.3		－
	③2025年常勤換算数	14,536	11,330	36,267	48,111	78,204		15,000	7,441	134,921		345,809
	④2025年実人員数（③×1.39。病院等との兼務を含む）（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	480,675
	⑤2025年実人員数（④×0.74。病院等との兼務を含む）（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	355,699
B1-N2シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,353	6,268	20,777	34,079	29,387	21,674	503	3,144	33,311	27,542	－
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.8	1.4	2.3			2.3	2.3	2.3	－
	③2025年常勤換算数	12,788	16,325	37,843	48,430	68,832		15,000	7,263	76,948	63,622	347,052
	④2025年実人員数（③×1.39。病院等との兼務を含む）（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	482,402
	⑤2025年実人員数（④×0.74。病院等との兼務を含む）（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	356,977
	算出方法	本推計の現状看護職員常勤換算数とB1シナリオの利用者増加率から推計。現状の病院の介護療養病床数で従事する看護職員は、介護療養型老健の利用者の増加率にあわせて必要となる看護職員数の中に含まれるため、除外。小規模多機能はB1シナリオと同じとした。訪問看護ステーションの看護職員数については、現状において、残業時間を含めると、看護職員の年間労働時間が2154.91時間であることから、現状看護職員常勤換算数 × （2154.91／1800）によって、適正労働時間を踏まえた常勤換算看護職員数を算出。										

訪問看護ステーションの時間外労働時間の引用：平成２１年度老人保健健康増進等事業「訪問看護の需給に関する調査研究（仮称）」

財）医療経済研究・社会保険福祉協会　医療経済研究機構

資料4

■B1 シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB1−N2シナリオ（本推計）—「行政、研究機関、その他社会福祉施設等」と「看護職員数合計」

★行政、研究機関、その他社会福祉施設等

・B1 シナリオと同様にB1−N2シナリオでも 現状（2007 年）の人数を固定した。

【医療・介護費用シミュレーション】 実人員数：98,836 人

【本推計】 常勤換算看護職員数：74,127 人　　実人員数 ：90,524 人

	カテゴリ	看護職員数（常勤換算数）	実人員
行政、研究機関、その他社会福祉施設等	保健所	7,545	7,895
	市町村	28,502	33,869
	事業所	6,778	12,479
	看護師学校・養成所又は研究機関	13,865	15,370
	助産所	1,547	1,790
	その他	7,637	10,631
	通所リハビリテーション（介護老人保健施設）*	3,444	3,543
	通所リハビリテーション（医療施設）*	4,809	4,947
合計		74,127	90,524

*通所 RH の実人員は、H19 の介護施設サービス調査から把握した看護職員常勤換算数を医療・介護費用シミュレーションと同じ計算式で算出

★看護職員数合計

	B1シナリオ	B1−N2シナリオ
実人員その1	1,797,330	1,775,833
実人員その2	1,872,044	1,854,869

資料5

■B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB2-N1シナリオ（本推計）－「病院看護職員」

【B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人	問題
一般病床	1,110,000	870,000	78.41	870,325	1.00	905,138	957,358	①病院の病床数に診療所の病床数も計上されてしまっている。②診療所の患者数も含まれてしまっている。③診療所の病床で従事する看護職員数も含められている。④精神病床は、精神病院の精神病床で従事する看護職員しか計上されていない。実際には、一般病院にも「精神病床」は存在している。
急性期	670,000	470,000	98.26	658,342	0.71	684,676	724,176	
亜急性期・回復期等	440,000	400,000	48.18	211,983	1.89	220,463	233,182	
療養病床（医療）	230,000	230,000	22.04	50,692	4.54	52,720	55,761	
精神病床	―	―	―	―	―	84,313	84,313	
病院助産師	―	―	―	―	―	18,054	18,054	
合計	―	―	―	―	―	1,060,225	1,115,486	

【B2-N1シナリオ（本推計）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人（精神・助産除く）	算出方法
一般病床	984,570	689,199	93.02	915,855	0.75	952,489	1,007,441	①一般病床の病床数の算出は、現状で全病床数の88.7%が病院の病床数に該当するため、B2シナリオの急性期と亜急性期・回復期の計111万床にその割合を乗じて算出し、984,570床とした。②急性期の病床数の算出は、B2シナリオの一般病床数のうち、急性期病床数の割合が60.6%であることから、①×0.606＝594,680床とした。③B2シナリオと同様に、B1-N1シナリオの急性期、亜急性期の「現状100床あたりの看護職員数」をそれぞれ、1.506倍、1.083倍とし、常勤換算看護職員数を算出。④病院助産師、精神病床の実人員数については、B2シナリオと同様に、現状（2007）を維持とし、その②は1.1を乗じず、その①を固定とした。
急性期	594,680	416,276	115.89	689,152	0.60	716,718	758,067	
亜急性期・回復期等	389,890	350,901	58.15	226,703	1.55	235,771	249,373	
療養病床（医療）	218,040	213,679	20.75	45,244	4.72	47,054	49,769	
精神病床	351,188	318,355	31.72	111,400	2.86	115,856	115,856	
病院助産師	―	―	―	-	―	17,766	17,766	
合計	―	―	―	―	―	1,133,165	1,190,831	

資料5

■B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB2-N1シナリオ（本推計）－「病院の外来看護職員」、「診療所」

★病院外来看護職員

B2シナリオ		B2-N1シナリオ		
①A推計病院看護職員常勤換算数	119,835	①A-N1推計看護職員常勤換算数	108,206	B2シナリオがB1を固定しているのと同様に、B2-N1でもB1-N1を固定。
②A推計病院外来患者数	2,040,000	②A推計病院外来患者数	2,040,000	
③B1推計病院外来患者数	970,000	③B1推計病院外来患者数	970,000	
④B1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	56,980	④B1-N1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	51,451	
⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	59,259	⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	53,509	
⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	62,678	⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	56,596	

★診療所看護職員

B2シナリオ		B2-N1シナリオ	
①現状看護職員常勤換算数	180,930	196,770	本推計の現状看護職員常勤換算数とB2シナリオの患者増加率に基づいて算出。
②現状診療所患者数	3,950,000	3,950,000	
③2025年診療所患者数	5,140,000	5,140,000	
④2025年常勤換算数（①×③÷②）	235,438	256,050	
⑤2025年実人員その1(④×1.5)人	353,157	384,075	
⑥2025年実人員その2(④×1.6)人	376,701	409,680	

資料5

■B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB2-N1シナリオ（本推計）－「その他看護職員」

★その他看護職員

		特定施設	認知症GH	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型老健	病院の介護療養病床*	小規模多機能	その他			小計
									訪問系	その他		
										訪問看護ステーション以	訪問看護ステーション	
B2シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,948	4,350	19,912	33,854	33,388		503	3,221	58,408		—
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.9	1.4	2.5			2.4	2.4		—
	③2025年常勤換算数	14,536	11,330	37,036	48,111	82,468		15,000	7,666	139,010		355,156
	④2025年実人員数（③×1.39。病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	493,667
	⑤2025年実人員数（④×0.74。病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	365,314
B2-N1シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,353	6,268	20,777	34,079	29,387	21,674	503	3,144	33,311	23,006	154,828
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.9	1.4	2.5			2.4	2.4	2.4	—
	③2025年常勤換算数	12,788	16,325	38,645	48,430	72,586		15,000	7,483	79,280	54,754	345,292
	④2025年実人員数（③×1.39。病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	479,955
	⑤2025年実人員数（④×0.74。病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	355,167
	算出方法	本推計の現状看護職員常勤換算数とB2シナリオの利用者増加率から推計。現状の病院の介護療養病床数で従事する看護職員は、介護療養型老健の利用者の増加率にあわせて必要となる看護職員数の中に含まれるため、除外。小規模多機能はB1シナリオと同じとした。										

資料5

■B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB2−N1シナリオ（本推計）—「行政、研究機関、その他社会福祉施設等」と「看護職員数合計」

★行政、研究機関、その他社会福祉施設等

・B2シナリオと同様にB2−N1シナリオでも　現状（2007 年）の人数を固定した。

【医療・介護費用シミュレーション】　実人員数：98,836 人

【本推計】 常勤換算看護職員数：74,127 人　　実人員数　：90,524 人

	カテゴリ	看護職員数（常勤換算数）	実人員
行政、研究機関、その他社会福祉施設等	保健所	7,545	7,895
	市町村	28,502	33,869
	事業所	6,778	12,479
	看護師学校・養成所又は研究機関	13,865	15,370
	助産所	1,547	1,790
	その他	7,637	10,631
	通所リハビリテーション（介護老人保健施設）*	3,444	3,543
	通所リハビリテーション（医療施設）*	4,809	4,947
合計		74,127	90,524

*通所 RH の実人員は、H19 の介護施設サービス調査から把握した看護職員常勤換算数を医療・介護費用シミュレーションと同じ計算式で算出

★看護職員数合計

	B2シナリオ	B2−N1シナリオ
実人員その1	1,946,811	2,016,440
実人員その2	2,029,035	2,102,798

資料6

■B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB2-N2シナリオ（本推計）－「病院看護職員」

【B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人	問題
一般病床	1,110,000	870,000	78.41	870,325	1.00	905,138	957,358	①病院の病床数に診療所の病床数も計上されてしまっている。②診療所の患者数も含まれてしまっている。③診療所の病床で従事する看護職員数も含められている。④精神病床は、精神病院の精神病床で従事する看護職員しか計上されていない。実際には、一般病院にも「精神病床」は存在している。
急性期	670,000	470,000	98.26	658,342	0.71	684,676	724,176	
亜急性期・回復期等	440,000	400,000	48.18	211,983	1.89	220,463	233,182	
療養病床（医療）	230,000	230,000	22.04	50,692	4.54	52,720	55,761	
精神病床	–	–	–	–	–	84,313	84,313	
病院助産師	–	–	–	–	–	18,054	18,054	
合計	–	–	–	–	–	1,060,225	1,115,486	

【B2-N2シナリオ（本推計）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人（精神・助産除く）	算出方法
一般病床	984,570	689,199	61.63	606,787	1.14	631,059	667,466	①一般病床の病床数の算出は、現状で全病床数の88.7%が病院の病床数に該当するため、B2シナリオの急性期と亜急性期・回復期の計111万床にその割合を乗じて算出し、984,570床とした。②急性期の病床数の算出は、B2シナリオの一般病床数のうち、急性期病床数の割合が60.6%であることから、①×0.606＝594,680床とした。常勤換算看護職員数の配置は、平均在院日数の10日を踏まえ、急性期には集中治療室等も含まれることから、「5対1」とし、管理者等の1割を計上し算出。③亜急性期・回復期の常勤換算看護職員数は、在院日数60日を踏まえ、「15対1」とし、管理者等分の1割を計上し算出。④精神病床の常勤換算看護職員数は、「13対1」とし、さらに管理者等の1割を計上して算出。⑤院内助産システムの必要助産師数：1人の助産師が介助可能な分娩数を 約25件/ 1年間*とし、2025年の分娩件数が732,000人**と想定した場合の院内助産師の実人員を算出。その②は1.1を乗じず、その①を固定とした。
手術部門	594,680	-	3.40	20,219	-	21,028	22,241	
急性期	594,680	416,276	77.00	457,904	0.91	476,220	503,694	
亜急性期・回復期等	389,890	350,901	33.00	128,664	2.73	133,811	141,530	
療養病床（医療）	218,040	213,679	20.75	45,244	4.72	47,054	49,769	
精神病床	351,188	318,355	38.35	134,688	2.36	140,076	148,157	
病院助産師	–	–	–	-	–	29,280	29,280	
合計	–	–	–	–	–	847,469	894,672	

＊助産師数：日本産科婦人科学会「産科医と助産師の協働について　助産師の卒後の就職先について」（平成 21 年 10 月 14 日）　院内助産システムに必要な助産師数—1 人の助産師が介助可能な分娩数：約 25 件/ 年

**出生数：国立社会保障・人口問題研究所　日本の将来推計人口（平成 18 年 12 月推計）　出生中位の推計値

資料6

■B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB2-N2シナリオ（本推計）－「病院の外来看護職員」、「診療所」

★病院外来看護職員

B2シナリオ		B2-N2シナリオ		
①A推計病院看護職員常勤換算数	119,835	①A-N1推計看護職員常勤換算数	108,206	B2シナリオがB1を固定しているのと同様に、B2-N1でもB1-N1を固定。
②A推計病院外来患者数	2,040,000	②A推計病院外来患者数	2,040,000	
③B1推計病院外来患者数	970,000	③B1推計病院外来患者数	970,000	
④B1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	56,980	④B1-N1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	51,451	
⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	59,259	⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	53,509	
⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	62,678	⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	56,596	

★診療所看護職員

B2シナリオ		B2-N2シナリオ	
①現状看護職員常勤換算数	180,930	196,770	本推計の現状看護職員常勤換算数とB2シナリオの患者増加率に基づいて算出。
②現状診療所患者数	3,950,000	3,950,000	
③2025年診療所患者数	5,140,000	5,140,000	
④2025年常勤換算数（①×③÷②）	235,438	256,050	
⑤2025年実人員その1(④×1.5)人	353,157	384,075	
⑥2025年実人員その2(④×1.6)人	376,701	409,680	

資料6

■B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB2-N2シナリオ（本推計）－「その他看護職員」

★その他看護職員

		特定施設	認知症GH	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型老健	病院の介護療養病床*	小規模多機能	その他			小計
									訪問系	その他		
										訪問看護ステーション	訪問看護ステーション	
B2シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,948	4,350	19,912	33,854	33,388		503	3,221	58,408		—
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.9	1.4	2.5			2.4	2.4		—
	③2025年常勤換算数	14,536	11,330	37,036	48,111	82,468		15,000	7,666	139,010		355,156
	④2025年実人員数（③×1.39。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	493,667
	⑤2025年実人員数（④×0.74。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	365,314
B2-N2シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,353	6,268	20,777	34,079	29,387	21,674	503	3,144	33,311	27,542	159,364
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.9	1.4	2.5			2.4	2.4	2.4	—
	③2025年常勤換算数	12,788	16,325	38,645	48,430	72,586		15,000	7,483	79,280	65,550	356,087
	④2025年実人員数（③×1.39。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	494,961
	⑤2025年実人員数（④×0.74。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	366,271
	算出方法	本推計の現状看護職員常勤換算数とB2シナリオの利用者増加率から推計。現状の病院の介護療養病床数で従事する看護職員は、介護療養型老健の利用者の増加率にあわせて必要となる看護職員数の中に含まれるため、除外。小規模多機能はB1シナリオと同じとした。										

資料6

■B2シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB2-N2シナリオ（本推計）―「行政、研究機関、その他社会福祉施設等」と「看護職員数合計」

★行政、研究機関、その他社会福祉施設等

・B2シナリオと同様にB2-N2シナリオでも 現状（2007 年）の人数を固定した。

【医療・介護費用シミュレーション】 実人員数：98,836 人

【本推計】 常勤換算看護職員数：74,127 人　　実人員数 ：90,524 人

	カテゴリ	看護職員数（常勤換算数）	実人員
行政、研究機関、その他社会福祉施設等	保健所	7,545	7,895
	市町村	28,502	33,869
	事業所	6,778	12,479
	看護師学校・養成所又は研究機関	13,865	15,370
	助産所	1,547	1,790
	その他	7,637	10,631
	通所リハビリテーション（介護老人保健施設）*	3,444	3,543
	通所リハビリテーション（医療施設）*	4,809	4,947
合計		74,127	90,524

*通所 RH の実人員は、H19 の介護施設サービス調査から把握した看護職員常勤換算数を医療・介護費用シミュレーションと同じ計算式で算出

★看護職員数合計

	B2シナリオ	B2-N2シナリオ
実人員その1	1,946,811	1,741,847
実人員その2	2,029,035	1,817,742

資料7

■B3シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB3-N1シナリオ（本推計）ー「病院看護職員」

【B3シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人	問題
一般病床	1,150,000	880,000	78.43	901,953	0.98	938,031	992,148	①病院の病床数に診療所の病床数も計上されてしまっている。②診療所の患者数も含まれてしまっている。③診療所の病床で従事する看護職員数も含められている。④精神病床は、精神病院の精神病床で従事する看護職員しか計上されていない。実際には、一般病院にも「精神病床」は存在している。
高度急性	260,000	180,000	106.12	275,914	0.65	286,951	303,505	
一般急性	490,000	340,000	88.43	433,327	1.13	450,660	476,660	
亜急性期・回復期等	400,000	360,000	48.18	192,712	1.87	200,420	211,983	
療養病床（医療）	230,000	230,000	22.04	50,692	4.54	52,720	55,761	
精神病床	―	―	―	―	―	84,313	84,313	
病院助産師	―	―	―	―	―	18,054	18,054	
合計	―	―	―	―	―	1,093,118	1,150,277	

【B3-N1シナリオ（本推計）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人	問題
一般病床	1,020,000	784,992	92.45	943,025	0.83	980,746	1,037,328	①一般病床：一般病床の病床数の算出は、現状で全病床数の88.7%が病院の病床数に該当するため、B3の高度急性期と一般急性期、亜急性期・回復期等の計115万床にその割合を乗じて算出し、約102万床とした。高度急性と一般急性、亜急性期・回復期等急性期の計によって看護職員数を算出。②B3において高度急性期の病床数の割合は、22.6%。①に0.226を乗じて高度急性の病床数を算出。B3シナリオと同様に、B2の100床あたりの急性期の看護職員数から B3の高度急性期の看護職員数の増加率1.08倍を使って算出。③B3において一般急性期の病床数の割合は、42.6%。①に0.426を乗じて一般急性期の病床数を算出。B3シナリオと同様に、B2の100床あたりの急性期の看護職員数からB3の一般急性期の看護職員数の増加率0.89倍を使って算出。④亜急性期・回復期等の病床数は、一般病床数から高度急性期と一般急性期の病床数の計を引いて算出。100床あたりの看護職員数をB2の固定としたB3シナリオと同様に、B2-N1の値を固定。⑤病院助産師、精神病床の実人員数については、B3シナリオと同様に、現状（2007）を維持とし、その②は1.1を乗じず、その①を固定とした。
高度急性	230,520	161,364	125.16	288,512	0.56	300,052	317,363	
一般急性	434,520	304,164	103.13	448,120	0.68	466,045	492,933	
亜急性期・回復期等	354,960	319,464	58.15	206,393	1.55	214,649	254,380	
療養病床（医療）	218,040	213,679	20.75	45,244	4.72	47,054	49,769	
精神病床	351,188	318,355	31.72	111,400	2.86	115,856	115,856	
病院助産師	―	―	―	―	―	17,766	17,766	
合計	―	―	―	―	―	1,161,422	1,220,718	

資料7

■B3シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB3-N1シナリオ（本推計）－「病院の外来看護職員」、「診療所」

★病院外来看護職員

B3シナリオ		B3-N1シナリオ		
①A推計病院看護職員常勤換算数	119,835	①A-N1推計看護職員常勤換算数	108,206	B3シナリオがB1の病院外来看護職員数を固定しているのと同様に、B1-N1を固定。
②A推計病院外来患者数	2,040,000	②A推計病院外来患者数	2,040,000	
③B1推計病院外来患者数	970,000	③B1推計病院外来患者数	970,000	
④B1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	56,980	④B1-N1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	51,451	
⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	59,259	⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	53,509	
⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	62,678	⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	56,596	

★診療所看護職員

B3シナリオ		B3-N1シナリオ	
①現状看護職員常勤換算数	180,930	196,770	B3シナリオがB2シナリオの診療所看護職員数を固定しているのと同様に、B2-N1を固定。
②現状診療所患者数	3,950,000	3,950,000	
③2025年診療所患者数	5,140,000	5,140,000	
④2025年常勤換算数（①×③÷②）	235,438	256,050	
⑤2025年実人員その1(④×1.5)人	353,157	384,075	
⑥2025年実人員その2(④×1.6)人	376,701	409,680	

資料7

■B3シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB3-N1シナリオ（本推計）－「その他看護職員」

★その他看護職員

		特定施設	認知症GH	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型老健	病院の介護療養病床*	小規模多機能	その他			小計
									訪問系	その他		
										訪問看護ステーション以外	訪問看護ステーション	
B3シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,948	4,350	19,912	33,854	33,388		503	3,221	58,408		—
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.9	1.4	2.5			2.4	2.4		—
	③2025年常勤換算数	14,536	11,330	37,036	48,111	82,468		15,000	7,666	139,010		355,156
	④2025年実人員数（③×1.39。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	493,667
	⑤2025年実人員数（④×0.74。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	365,314
B3-N1シナリオ	①現状看護職員常勤換算数	4,353	6,268	20,777	34,079	29,387	21,674	503	3,144	33,311	23,006	154,828
	②利用者増加率	2.9	2.6	1.9	1.4	2.5			2.4	2.4	2.4	—
	③2025年常勤換算数	12,788	16,325	38,645	48,430	72,586		15,000	7,483	79,280	54,754	345,292
	④2025年実人員数（③×1.39。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	479,955
	⑤2025年実人員数（④×0.74。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	355,167
	算出方法	B3シナリオがB2シナリオを固定しているのと同様に、B2-N1シナリオを固定。現状の病院の介護療養病床数で従事する看護職員は、介護療養型老健の利用者の増加率にあわせて必要となる看護職員数の中に含まれるため、除外。										

資料7

■B3シナリオ(医療・介護費用シミュレーション)とB3-N1シナリオ(本推計)—「行政、研究機関、その他社会福祉施設等」と「看護職員数合計」

★行政、研究機関、その他社会福祉施設等

・B3シナリオと同様にB3-N1シナリオでも 現状(2007年)の人数を固定した。

【医療・介護費用シミュレーション】 実人員数:98,836人

【本推計】 常勤換算看護職員数:74,127人　　実人員数 :90,524人

	カテゴリ	看護職員数(常勤換算数)	実人員
行政、研究機関、その他社会福祉施設等	保健所	7,545	7,895
	市町村	28,502	33,869
	事業所	6,778	12,479
	看護師学校・養成所又は研究機関	13,865	15,370
	助産所	1,547	1,790
	その他	7,637	10,631
	通所リハビリテーション(介護老人保健施設)*	3,444	3,543
	通所リハビリテーション(医療施設)*	4,809	4,947
合計		74,127	90,524

*通所RHの実人員は、H19の介護施設サービス調査から把握した看護職員常勤換算数を医療・介護費用シミュレーションと同じ計算式で算出

★看護職員数合計

	B3シナリオ	B3-N1シナリオ
実人員その1	1,979,704	2,044,697
実人員その2	2,063,825	2,132,685

資料8

■B3シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB3-N2シナリオ（本推計）ー「病院看護職員」

【B3シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人	問題
一般病床	1,150,000	880,000	78.43	901,953	0.98	938,031	992,148	①病院の病床数に診療所の病床数も計上されてしまっている。②診療所の患者数も含まれてしまっている。③診療所の病床で従事する看護職員数も含められている。④精神病床は、精神病院の精神病床で従事する看護職員しか計上されていない。実際には、一般病院にも「精神病床」は存在している。
高度急性	260,000	180,000	106.12	275,914	0.65	286,951	303,505	
一般急性	490,000	340,000	88.43	433,327	1.13	450,660	476,660	
亜急性期・回復期等	400,000	360,000	48.18	192,712	1.87	200,420	211,983	
療養病床（医療）	230,000	230,000	22.04	50,692	4.54	52,720	55,761	
精神病床	―	―	―	―	―	84,313	84,313	
病院助産師	―	―	―	―	―	18,054	18,054	
合計	―	―	―	―	―	1,093,118	1,150,277	

【B3-N2シナリオ（本推計）】

	①病床数	②患者数	③現状100床あたりの看護職員数	④2025年常勤換算看護職員数	⑤2025年常勤換算看護職員一人当たりの患者数	⑥2025年実人員その1（④×1.04）人	⑦2025年実人員その2（④×1.1）人	問題
一般病床	1,020,000	784,992	56.72	578,503	1.36	625,159	661,226	①一般病床：一般病床の病床数の算出は、現状で全病床数の88.7%が病院の病床数に該当するため、B3の高度急性と一般急性、亜急性期・回復期等の計115万床にその割合を乗じて算出し、約102万床とした。高度急性と一般急性、亜急性期・回復期等急性期の計によって看護職員数を算出。②B3において高度急性期の病床数の割合は、22.6%。①に0.226を乗じて高度急性の病床数を算出。平均在院日数16日を踏まえ、看護人員配置を「7対1」で設定し、常勤換算看護職員数を算出。さらに管理者等の1割を計上。③B3において一般急性期の病床数の割合は、42.6%。①に0.426を乗じて一般急性期の病床数を算出。平均在院日数9日を踏まえ、看護人員配置を「5対1」で設定し、常勤換算看護職員数を算出。さらに管理者等の1割を計上。④亜急性期・回復期等の病床数は、一般病床数から高度急性期と一般急性期の病床数計を引いて算出。在院日数60日を踏まえ、「15対1」で設定し、常勤換算看護職員数を算出。さらに管理者分等の1割を計上。⑤精神病床は、「13対1」で設定し、常勤換算看護職員数を算出。さらに管理者分等の1割を計上。⑥院内助産システムの必要助産師数:1人の助産師が介助可能な分娩数を 約25件/ 1年間*とし、2025年の分娩件数が732,000人**と想定した場合の院内助産師の実人員を算出。その②は1.1を乗じず、その①を固定とした。
手術部門	665,040	-	3.40	22,611	-	23,516	24,872	
高度急性	230,520	161,364	55.00	126,786	1.27	131,857	139,465	
一般急性	434,520	304,164	77.00	334,580	0.91	347,964	368,038	
亜急性期・回復期等	354,960	319,464	33.00	117,137	2.73	121,822	128,850	
療養病床（医療）	218,040	213,679	20.75	45,244	4.72	47,054	49,769	
精神病床	351,188	318,355	38.35	134,688	2.36	140,076	148,157	
病院助産師	―	―	―	―	―	29,280	29,280	
合計	―	―	―	―	―	841,569	888,432	

*助産師数：日本産科婦人科学会「産科医と助産師の協働について　助産師の卒後の就職先について」（平成 21 年 10 月 14 日）　院内助産システムに必要な助産師数—1 人の助産師が介助可能な分娩数：約 25 件/ 年

**出生数：国立社会保障・人口問題研究所　日本の将来推計人口（平成 18 年 12 月推計）　出生中位の推計値

資料8

■B3シナリオ（医療・介護費用シミュレーション）とB3-N2シナリオ（本推計）－「病院の外来看護職員」、「診療所」

★病院外来看護職員

B3シナリオ		B3-N2シナリオ		
①A推計病院看護職員常勤換算数	119,835	①A-N1推計看護職員常勤換算数	108,206	B3シナリオがB1の病院外来看護職員数を固定しているのと同様に、B1-N1と同じ値とした。
②A推計病院外来患者数	2,040,000	②A推計病院外来患者数	2,040,000	
③B1推計病院外来患者数	970,000	③B1推計病院外来患者数	970,000	
④B1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	56,980	④B1-N1推計看護職員常勤換算数（①×③÷2）	51,451	
⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	59,259	⑤2025年実人員その1（④×1.04）人	53,509	
⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	62,678	⑥2025年実人員その1（④×1.1）人	56,596	

★診療所看護職員

B3シナリオ		B3-N2シナリオ	
①現状看護職員常勤換算数	180,930	196,770	B3シナリオがB2シナリオの診療所看護職員数を固定しているのと同様に、B2-N1と同じ値とした。
②現状診療所患者数	3,950,000	3,950,000	
③2025年診療所患者数	5,140,000	5,140,000	
④2025年常勤換算数（①×③÷②）	235,438	256,050	
⑤2025年実人員その1(④×1.5)人	353,157	384,075	
⑥2025年実人員その2(④×1.6)人	376,701	409,680	